

いのち
生命を支える

血液幹細胞

第35回科学技術映像祭科学技術庁長官賞
第32回日本産業映画ビデオコンクール奨励賞
1994年日本産業文化映像祭部門賞
科学技術庁推奨・日本医師会推薦

企画：中外製薬 株式会社
製作：(株)桜映画社

<16ミリ・カラー・23分>

[監修]	埼玉医科大学教授	平嶋邦猛
	東京大学医科学研究所教授	浅野茂隆
	東京大学医科学研究所教授	中畑龍俊
	理化学研究所ライフサイエンス筑波研究センター 筑波大学教授	中内啓光

[解説]

私たちの身体を守り維持するために、毎日数百万単位の血球が産み出される。酸素や栄養を運ぶ赤血球、外敵と闘う白血球、止血の働きをする血小板などである。身体にとってどれも大切なこれらの血球は、たった一つの幹細胞から生まれてくる。このすべての血球を産み出す細胞、血液幹細胞は多くの謎に包まれ、長い間誰もその姿を同定して見ることができない、幻の存在であった。

この映画は、生体での血液幹細胞の働きを探るため、分離された血液幹細胞の動きを、骨髄細胞の相互作用を中心に観察したものである。血液幹細胞の探究の歩みをたどりながら、造血巣である骨髄や脾臓でどのような動きを示し、造血の営みを続けているかを、今回世界で初めて長時間の顕微鏡撮影、あるいは生体内撮影で興味深く捉えた。

あわせて、こうした血液幹細胞の探究が、臨床的にはどのような意味と展望をもっているのか、医療の最前線的话题を紹介していく。

[製作スタッフ]

製作＝村山英治／村山英世
脚本＝花崎 哲
演出＝花崎 哲／森 吉美
撮影＝豊岡定夫／鈴木博之
照明＝監物邦雄

編集＝加納宗子
動画＝高田 悟
音楽＝山崎 宏
録音＝東亜映像録音
解説＝城 達也